



東京教区災害対応チーム
お知らせ

NUMBER
017

【 礼 拝 案 内 】

～～「東日本大震災、また世界各地の
自然災害を憶えて祈る」～～

東日本大震災発生以来、東京教区の方々の主体的な思いによって「東日本大震災を憶えての祈り」が捧げられ、今も被災地の方々の「忘れないで欲しい」という切なる思いに呼応し礼拝を守り続けてきています。また、この東日本大震災は、自然災害だけではない人間の経済的欲求による人災の側面があることを私たちに突きつけました。ことに東京の此の地に住む自分たちの生活や価値観が厳しく問われ、日本社会の矛盾や傲慢を思わされた出来事でした。私たちはこのことを自分たちの課題をとして胸に刻みこれからも祈り憶え続けていきます。

2016年は熊本地震、鳥取県中部の地震、台風水害、世界各地で多くの自然災害があり、悲しみや不安の中で希望を見出せない方がたくさん居ます。また大きな痛みを背負いながらも生活復興へと小さな歩みを始める方もいます。そうした方々を思い、ともに祈りましょう。

なお、2016年12月の礼拝より、礼拝意図がより伝わるようにタイトルを「東日本大震災、また世界各地の自然災害を憶えて祈る」と変更いたしました。

2017年 の 礼 拝

■ 毎月11日、午後2時30分からの礼拝

～ 午後2時46分の黙想と祈り ～

於：聖アンデレ主教座聖堂（曜日に関係なく実施します）

■ 奇数月 第三日曜日 18時からの礼拝

～ 各教会グループの祈り ～

1月15日（日）環状教会グループ：18時から 練馬聖ガブリエル教会

お話：司祭 矢萩新一（管区事務所総主事）

3月 下町教会グループ：

5月 山手教会グループ：

7月 多摩教会グループ：

詳細は決まり次第、お知らせいたします。



日本聖公会東京教区 聖アンデレ主教座聖堂、信仰と生活委員会、災害対応チーム